

SSDM 2012 発表論文著者各位

J J A P 特集号への投稿のお誘い

2012 年国際固体素子・材料コンファレンス(SSDM 2012)において発表される論文は、引き続きJapanese Journal of Applied Physics (JJAP)のSSDM 2012 特集号に投稿することができます。研究成果をより広く周知していただくためにも、貴論文をFull Paper として特集号に投稿されることをお勧めします。JJAP特集号では2013年から随時公開を始める予定です。2013年出版のSSDMにつきましては、2月より1ヶ月に1回のペースでオンライン出版し、1月に全掲載論文が揃って、紙版は4月下旬に出版されます。なお、会議に採択された論文でも、発表されなかった論文は取り消しと見なされ特集号の対象にはなりません。

御投稿に際しましては、下記投稿に関する注意をお読みにになり、JJAP 投稿規定に沿って投稿下さるようお願いいたします。(招待論文の方については、オリジナルな部分に関する投稿となります。)J J A P 特集号への投稿締切は9月23日(日)です。

JJAP 特集号に御投稿される場合のスケジュールは下記ようになります。

2012 年

9 月23日 ●特集号への投稿締切(J J A P 編集部)

9 月25日-27日 ●2012 年国際固体素子・材料コンファレンス (SSDM 2012)

2013 年

2 月下旬 ●Online公開開始 (以降4月まで月に1回追加公開)

4 月 ●特集号冊子版発行

SSDM 2012 発表論文の J J A P特集号への投稿に関するご注意とお願い

- ① JJAP 特集号に投稿する論文は、SSDM 2012 Extended Abstract と全く同一のものではないようにして下さい。内容は、データや記述の追加、より詳細な議論の展開などが含まれた、オリジナルなものを求めます。なお、著者の少なくとも1名が会議において発表を行わなかった場合には論文は取り消しと見なされ、特集号の対象にはなりません。
- ② 特集号に投稿された論文は、JJAP の通常の閲読手続を経て採否が決定されます。投稿された論文がすべて掲載許可となるわけではありません。
- ③ 特集号へ投稿された論文が、閲読者との討論やそれに基づく修正などにより、閲読後の最終原稿の締切を過ぎた場合は、原則特集号に収録されませんのでご注意ください。
- ④ 今回より2月より1ヶ月に1回のペースでオンライン出版し、4月に全掲載論文が揃って、紙版は4月下旬に出版されます。
- ⑤ 招待論文の場合は、その内容のオリジナルな部分について投稿を歓迎します。その場合にも、上記①-④項が適用されます。
- ⑥ 掲載料(別刷り代)や投稿手続は、JJAP の投稿規定に従っていただきます。

⑦ 原稿作成にあたっては下記URL を必ずご一読ください。

<http://jjap.ipap.jp/special/index.html>

投稿は下記URL からお願いします。

<http://jjap.ipap.jp/special/ESubmissionSIssue.html>

投稿にはユーザ登録が必要です。Web 以外から投稿された原稿は受け付けられません。

⑧ JJAP編集部の調査で、同分野の著名な論文誌、例えばJ. Appl. Phys.に比べJJAPではreference の数が少ないことが判明しています。J. Appl. Phys.の平均reference 数は約28です。

論文執筆の際には、著者自身の既発表論文と関連論文をできるだけ多く引用し、他の論文との違いを明確にしてください。結果的には、それが論文の価値を高めることになります。

SSDM 2012 JJAP 特集号編集委員

浦岡行治

秋田成司

斧 高一

SSDM 2012 論文委員長

宮崎誠一